

# 山岳 おおさか

<http://sangaku-osaka.com/>

No.217

大阪府山岳連盟は2016年に創立70周年を迎え、一般社団法人に移行致しました。今後、より公益性、社会性の高い法人として、登山を始め山岳スポーツの普及と発展に努めてまいります。



ホームページ Eメール

平成30年夏号 2018年7月15日発行 | 〒537-0014 大阪市東成区大今里西2-5-12 TEL 06-6973-3675 FAX 06-7504-4214 yamaosaka@hera.eonet.ne.jp

New

## 道迷い遭難防止に役立つ…「ナビゲーション力(地形と地図を読む力)」を高めよう!

最近では地図アプリなどのGPS機能で、手軽に現在地がわかるようになってきました。でも、あるはずの分岐がない、いつの間にか違う道を歩いていたなど、地図には読図に必要な「トリック」がたくさん存在します。

今回は、新シリーズ第2回として、トリックの一部を紐解きます。さあ、「ナビゲーション力」を少しずつ身につけて、道迷い遭難防止に役立てていきましょう。

### 第2回のテーマ

## 登山道のさまざまな誤情報による、「現在地の混乱」



6月に行った「読図講習会」での課題を例に、地図と現場にどのような違いがあるかを解説します。場所は、神戸市北区千刎(せんがり)水源池周辺のハイキングコース。実は荒廃した道や、付け替えられた道などが入り組み、地図への反映が追いついていない低山エリアです。



#### Checkpoint 1

三角点の先にある分岐を左折(北上)したいが、実際の分岐は三角点の手前にあるというトリック。通過した明らかな分岐をやりすごし、「三角点の先を曲がる」という先入観で先へ進むうちに、分岐がわからなくなる。



分岐が現れたら必ず現在地を特定(推察)しましょう。進行方向に向かって三角点の手前に神戸市と宝塚市の境界線がありますので、近くに境界標がないか探してみるのも現在地を知る手です。



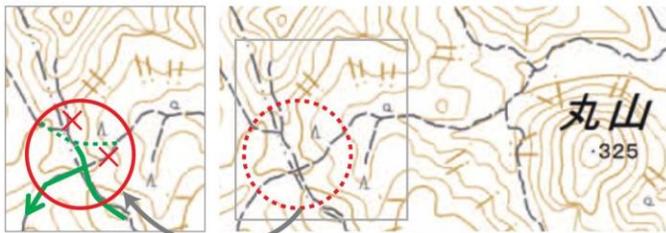
実際に、境界標のすぐ先に分岐があり、地図上の分岐位置は誤情報であることが推察できます。

(次ページにつづく)

〈前ページより〉

### Checkpoint 2

丸山から交差する四つ辻を左折(西進)したいが、四つ辻が存在しないというトリック。すぐ先で東西方向との道に突き当たり、どちらを左折すれば良いか迷ってしまうケース。



実際には三叉路が連続して現れる。

地図では四つ辻の次に分岐があるが…



実際には四つ辻が變形し、三叉路が連続して現れるため混乱します。地図の位置関係から手前の三叉路を西方向へ進めば良いと推察できますが、念のためコンパスで西約85度方向であることを確認しておくことにより安心です。

### Checkpoint 3

明瞭な道を頼りに進んでいくと、思いもよらなかった場所に出してしまうというトリック。

地図にはない分岐に出合うが、明瞭な道が地図上の道と思い込んで直進。しかも送電線を横切るはずが、生茂った樹木で送電線を見失うというダブルミス。



次に進む方向や道の特徴(大きく曲がるなど)など目標を頭に入れておきます。南下するのか北上するのか、コンパスが手元があれば、ほんの数分で確認できますね!

### Checkpoint 番外編

あれ、どこから来たの?



藪漕ぎで方位を失う危険なトリック。今回の読図講習会では、登山道から逸れて10mほど藪に入り元へ戻れるか?という体験を行いました。迷った末になんとか登山道に復帰しましたが、特徴を掴むのが難しい藪では、ほんのわずかな距離でさえ来た道がわからなくなることがあります。ちょっとキジ打ち、お花摘みで藪の中に…、実はとても危険なのです。

いくらGPSが身近に使用できるようになっても、GPSだけに頼らず地図そのものを味方にして、「ナビゲーション力」を磨きましょう!

※地形図・地図での登山道の記入状態と実際の道との関係は次のようになっています。今回は、A、C、Eの例をご紹介します。

- A. 地図に登山道未記入+踏み込まれた道が存在する
- B. 地図に登山道未記入+作業道など薄い踏み跡が存在する
- C. 地図に登山道記入+災害などにより消滅、荒廃して通行困難
- D. 地図に登山道記入+登山道は解釈により異なる
- E. 地図に登山道記入+登山道の誤情報

※地図: このシリーズでは、国土地理院発行の地図を使用しています。

(地図出所/国土地理院電子地形図25000を掲載)

- ・指導監修/青山千彰(あおやまちあき) 長年、道迷い遭難のメカニズム解明に取り組む。関西大学名誉教授(工学博士)、国際山岳連盟UIAA委員、日山協遭難対策委員会副委員長、日本山岳SAR研究機構会長等
- ・取材日/平成30年6月17日(日)晴れ
- ・取材協力/読図講習会受講生(基本コース)の皆さん
- ・取材/佐伯典昭(広報)

このシリーズは、道に迷った時にどう対処するかではなく、「道迷いを予防する」ことを目的としています。少しでもお役に立てるよう内容を深めていきたいと思っておりますので、ご不明な点などございましたら「山岳おおさか係り」宛てにメールでお問い合わせ下さい。yamaosaka@hera.eonet.ne.jp



Eメール